

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	都市基盤工学特論B（Advanced Urban Infrastructure Engineering B）		
ナンバリングコード	R20204	大分類 / 難易度 科目分野	環境情報学専攻 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修・選択区分	選択		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M004201	クラス名	-
担当教員名	吉村 充功		
履修上の注意、 履修条件	数学モデルなどの理論が出てくるため、出席するだけでは単位取得できません。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	知識社会と都市の発展（森北出版） 小林潔司 他 編著		
関連科目	都市基盤工学特論A		

○基本情報		
授業の目的	21世紀に入り、社会経済活動の高度化、価値観の多様化が進み、都市基盤である道路や鉄道などの事業（プロジェクト）のあり方は大きく変わってきています。そのため、これまでの事業単体を考えるだけでなく、複雑な社会現象をシステムとして把握していく必要があります。本科目では、知識基盤社会で必要とされる社会基盤、都市基盤について自分自身で考えられるようになることを目的とします。	
授業の概要	本科目では、土木計画や関連する諸分野を横断しながら、21世紀の社会とされる知識基盤社会で必要となる社会基盤、都市基盤とは何かを様々な視点から解説、実例を示しながら講義を行います。特に工学からの視点だけでなく、経済学の視点、社会学の視点などを交え、多角的なものの見方ができるように講義を展開します。授業では時事の事象を扱いながら、双方向形式で進めます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】				
【ディプロマ・ポリシー②】	知識基盤社会で必要とされる社会基盤、都市基盤について自分自身で考えることができる。		50%	
【ディプロマ・ポリシー③】	①知識基盤社会の特徴について理解できる。 ②知識基盤社会と社会基盤(インフラストラクチャー)の関係について理解できる。		50%	

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。
[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名	都市基盤工学特論B (Advanced Urban Infrastructure Engineering)	授業コード	M004201
		担当教員	吉村 充功		
学修内容					
1. ガイダンス、概論					
■知識基盤社会の出現					
予習	授業内容に関連する時事動向について調査しまとめて下さい。				(約2.0h)
復習	授業内容について概要を復習して下さい。				(約2.0h)
2. 知識基盤社会におけるインフラ(1)					
■インフラストラクチャとは					
予習	授業内容に関連する時事動向について調査しまとめて下さい。				(約2.0h)
復習	授業内容について概要を復習して下さい。				(約2.0h)
3. 知識基盤社会におけるインフラ(2)					
■インフラストラクチャ整備の重要性					
予習	授業内容に関連する時事動向について調査しまとめて下さい。				(約2.0h)
復習	授業内容について概要を復習して下さい。				(約2.0h)
4. 知識基盤社会と新しい消費パターン(1)					
■消費理論					
予習	授業内容に関連する時事動向について調査しまとめて下さい。				(約2.0h)
復習	授業内容について概要を復習して下さい。				(約2.0h)
5. 知識基盤社会と新しい消費パターン(2)					
■消費行動					
予習	授業内容に関連する時事動向について調査しまとめて下さい。				(約2.0h)
復習	授業内容について概要を復習して下さい。				(約2.0h)
6. 知識基盤社会と新しい生産パターン(1)					
■生産理論					
予習	授業内容に関連する時事動向について調査しまとめて下さい。				(約2.0h)
復習	授業内容について概要を復習して下さい。				(約2.0h)
7. 知識基盤社会と新しい生産パターン(2)					
■生産様式					
予習	授業内容に関連する時事動向について調査しまとめて下さい。				(約2.0h)
復習	授業内容について概要を復習して下さい。				(約2.0h)
8. 知識基盤社会におけるコミュニケーション(1)					
■交通・通信とコミュニケーション					
予習	授業内容に関連する時事動向について調査しまとめて下さい。				(約2.0h)
復習	授業内容について概要を復習して下さい。				(約2.0h)

○授業計画	科目名 担当教員	都市基盤工学特論B（Advanced Urban Infrastructure Engineering） 吉村 充功	授業コード M004201
学修内容			
9. 知識基盤社会におけるコミュニケーション(2) ■交通行動分析			
予習	授業内容に関連する時事動向について調査しまとめて下さい。		(約2.0h)
復習	授業内容について概要を復習して下さい。		(約2.0h)
10. 知識基盤社会における大都市(1) ■大都市の役割			
予習	授業内容に関連する時事動向について調査しまとめて下さい。		(約2.0h)
復習	授業内容について概要を復習して下さい。		(約2.0h)
11. 知識基盤社会における大都市(2) ■都市の空間構造			
予習	授業内容に関連する時事動向について調査しまとめて下さい。		(約2.0h)
復習	授業内容について概要を復習して下さい。		(約2.0h)
12. 知識基盤社会における地方都市(1) ■地方都市とサービス生産 ■大分市の事例			
予習	授業内容に関連する時事動向について調査しまとめて下さい。		(約2.0h)
復習	授業内容について概要を復習して下さい。		(約2.0h)
13. 知識基盤社会における地方都市(2) ■地方都市の活力			
予習	授業内容に関連する時事動向について調査しまとめて下さい。		(約2.0h)
復習	授業内容について概要を復習して下さい。		(約2.0h)
14. 国際化時代と都市の発展(1) ■国際的知識社会の構造			
予習	授業内容に関連する時事動向について調査しまとめて下さい。		(約2.0h)
復習	授業内容について概要を復習して下さい。		(約2.0h)
15. 国際化時代と都市の発展(2) ■都市・地域計画の新しいパラダイム			
予習	授業内容に関連する時事動向について調査しまとめて下さい。		(約2.0h)
復習	レポート課題について調査し、完成させて下さい。		(約2.0h)
16.			
予習	授業内容に関連する時事動向について調査しまとめて下さい。		(約2.0h)
復習			